

# SDGs 理解へ探究

## 陽明高が実践発表会



陽明高校の実践発表会が  
1月26日、浦添市のアイム



探究成果を発表する陽明高校の  
生徒ら11月26日、浦添市アイ  
ム・ユニバースでだこホール

・ユニバースでだこホール  
で開かれた。生徒がキャリ  
ア教育や持続可能な開発目  
標（SDGs）などについて  
探究した成果を発表し  
た。今回で10回目の開催と

なる。

2年の平良千音さん、富  
村早紗さん、津嘉山琉海さ  
ん、高昇輔さんのグループ  
は性に悩んだり、苦しんだ  
りしている人がいること  
について「性のボーダーライ  
ンを無くした学校づくり」  
について発表した。

クラスでLGBT（性的  
少数者）についての認知度  
や、性別による壁を感じる  
かなどのアンケートを  
実施、バイセクシャルやト  
ランスジェンダーについて  
の理解度が低いことが分  
かつたとまとめた。性別の  
壁については78%の生徒  
が感じると回答した。

結果を受けて、LGBT  
に関する自作のポスターを  
クラス内に掲示し、理解を  
深めるための取り組みを紹  
介し、「小さな行動でも、  
理解してもらおうきっか

なる。みんなでアイデアを  
考えたい」と報告した。

2年の國吉温人さん、真  
栄里連温さん、粟国芽衣さ  
ん、嘉手苺葵さんのグル  
ープはフードロスについて  
発表した。国内では1日につ  
き、国民1人当たり茶わん  
1杯分の食料が廃棄されて  
いることを踏まえ、全校  
生徒にアンケートを実施。校  
内で弁当を購入している生  
徒151人のうち、48人が  
弁当の量が多いと感じて  
いると報告した。

今後は弁当業者に量の少  
ない弁当の販売を提案す  
るとした上で「取り組みを  
通してフードロスを減ら  
したい」と発表した。  
そのほか、琉球舞踊や剣  
道、手話、科学研究の発表  
などがあった。

(名嘉一心)

琉球新報にて掲載 (2月14日付け)